

公益財団法人新潟市海洋河川文化財団
令和2年度 第2回評議員会議事録（抄本）

1 開催日時

令和2年6月18日（木） 10時00分から11時10分まで

2 開催場所

新潟市水族館マリニピア日本海 2階団体休憩室（新潟市中央区西船見町 5932-445）

3 評議員現在数及び定足数

現在数7人、定足数4人

4 出席評議員数 6人

（出席） 鈴木倫明 評議員、雲尾周 評議員、山口誠二 評議員、斎藤聖治 評議員、
塚原進 評議員、松本まいこ 評議員

（欠席） 菊池美和 評議員

5 出席理事及び監事

（理事） 高橋道映 理事長（代表理事）、近藤博 専務理事（代表理事）

（監事） 中澤晃一 監事、山岸誠一 監事

6 その他出席者

（事務局） 石田孝 事務局長、加藤治彦 水族館長、野村卓之 副館長、大和淳 学びのデザイン課長、斎藤淳 管理課長、長谷川聡 企画営業係長、工藤隆生 文化政策課係長

7 決議事項

議案第1号 令和1年度事業報告及び決算の承認について

8 報告事項

職務執行状況の報告事項について

9 議事の経過の要領及びその結果

(1) 出席者の確認及び議長の選出

石田事務局長が出席者の紹介を行い、配付議案の確認をした。その後、定款並びに評議員会運営規程に基づき鈴木評議員が互選により議長に選出され、鈴木議長が開会宣言を行った。

(2) 評議員の出席状況の確認及び議事録署名人の選出

鈴木議長が、評議員会運営規程に基づき理事へ出席状況の報告を求め、石田事務局長より定款並びに評議員会運営規程に規定する評議員の過半数の出席を満たしており、本評議員会は有効に成立している旨の説明があった。

議事録署名人は定款並びに評議員会運営規程に基づき鈴木議長並びに議長の指名により山口評議員及び斎藤評議員とし、議案の確認後、審議に移った。

(3) 議案第1号 令和1年度事業報告及び決算の承認について

鈴木議長が上記議案について、事務局からの説明を提言した。これを受け、石田事務局長が事業報告及び決算についての説明を行った。

事業報告は、事業概要・事業内容（公益目的事業：1 海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業(1)海洋・河川文化の普及啓発(2)海洋・河川文化の調査研究(3)海洋・河川文化の保護保全、2 海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業(1)水生生物に

関する知識の普及振興、(2)水生生物の収集、飼育、展示、収益事業：1施設管理に付帯する事業)について説明がされ、決算については、財務諸表(貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、附属明細書、財産目録)に基づき資産、負債、正味財産及び公益認定の財務基準である収支相償、公益目的事業比率(94.57%)を満たしているとの説明がされた。

続いて、監事を代表して中澤監事から業務執行は適正に行われていたこと、財政状態及び会計決算については、財務諸表に適正に表示されていたと報告があった。

説明終了後、本議案に関して、次のとおり質疑応答があった。

(雲尾評議員) 田んぼ体験の稲刈りが中止となっているが理由は？

(大和課長) 当日、台風接近のため中止した。

(雲尾評議員) 中止したのであれば理由を一文入れるべきである。

(小見評議員) 学びのデザイン課が新設されたが、新しい取り組みの成果や課題は？

(大和課長) 1年目であったため多方面で種まきをした年であった。成果としては上がっていないが新潟環境フェスティバルなどへの出店展示や総合学習受入れでは制限を設けず学校と協議しながら行った。また、中学校の校長会へ参加して活動のアピールを行った。

(小見評議員) 数値だけでなく成果や課題を具体的に表記すると良い。

(小見評議員) SDGz 海の保全の取り組みについてどのようなことを行っているか。

(大和課長) 新潟環境フェスティバルの出張展示では、主催者側からSDGzを意識しながらやっていただきたいとリクエストがありその内容で行った。また、だいしほくえつアカデミーの親子向け出張展示では、SDGzをクイズの中で取り入れながら行った。

(小見評議員) いきもの教室の参加者が少ない。定員があると思うがメルマガ等で情報提供をしてはどうか。

(石田局長) 公式LINEで旬な情報を提供しており、年間パスポートを購入されるお客様にはお友達登録していただくようお願いしている。

(山口評議員) (一社)日本水族館協会へ加入した意義は？

(野村副館長) 2014年捕鯨に関する問題により国内でイルカの導入が出来なくなった。これを機に(公社)日本動物園水族館協会を脱退した水族館があり、その後、日本鯨類研究協議会という任意団体が設立され、脱退した水族館を含む鯨類を飼育する多くの水族館が加盟した。当館も他館から情報を得るために加盟した。

(雲尾評議員) 会費はどこに掲載されているか。また金額は？

(斎藤課長) 財務諸表の正味財産増減計算書の公租公課費の中に含まれている。会費は年間30,000円。

(4) 職務執行状況の報告事項について

鈴木議長が上記報告事項について、理事からの説明を提言した。これを受け、近藤専務理事が次の内容についての報告を行った。

・第1回理事会の報告について

事業報告及び決算の承認、評議員会の開催について、全議案滞りなく可決された。

・令和1年度新潟市水族館の管理運営について

入館者数509,286人、対前年比98.1%。入館料収入は432,686,238円対前年比99.3%。要因は3月の新型コロナウイルスの影響によるものである。ゴマフアザラシの誕生やリュウグウノツカイの展示、当館で初めてとなるカマイルカの出産・誕生のほか、冬季の暖冬・少雪などから2月末時点では前年度比103.3%であったが、最終的に98.1%となった。

・ラッコの死亡について

オスのラッコが3月23日に死亡した。死亡原因は腸捻転と考えられる。当館で9年飼育・展示し18歳で死亡した。今後の展示については、現在新潟市側と協議中。

・新型コロナウイルス感染症の対策について

小学校、中学校、高等学校等にかかる臨時休業の要請及び市内で初めて感染者が確認されたことをうけ2月29日から「3密」を防ぐためイベントや解説プログラムの中止、消毒の実施、キッズファンや団体休憩室などの閉鎖を行った。4月7日に緊急事態宣言の対象区域が全都道府県に拡大されたことに伴い、4月21日から5月11日の間、臨時休館を行った。休館中は感染リスクを避けながら館の維持管理を行うため、職員については2班交替勤務の体制をとった。再開に際しては、臨時休館前の「3密」防止対策に加え、入館者に発熱などの体調の確認を行うなど感染拡大の防止に取り組んでいる。今後も新潟市と協議しながら感染防止に努め、入館者に安心して入館し楽しんでいただけるよう管理運営に努めていきたい。

・月次監査（外部）の報告について

毎月、外部から監査をしてもらい適正に会計処理がされている旨の報告を受けている。説明終了後、本報告に関して、次のとおり質疑応答があった。

(斎藤評議員) ラッコの寿命はどれくらいか？

(加藤館長) 「わかりません」といつも答えるようにしている。当館で飼育していたラッコは18年だったが、自然界では不明である。

質疑応答を経て、本報告は終了した

以上をもって、全ての議案の審議及び報告を終了したので、議長は11時10分に閉会を宣言した。

上記の議事の経過の要領及びその結果並びに報告事項が正確であることを証するため、議長及び出席した評議員2人は記名押印する。

令和2年6月18日

公益財団法人新潟市海洋河川文化財団

評議員会議長 鈴木 倫 明

評 議 員 山 口 誠 二

評 議 員 齋 藤 聖 治
